

事業番号	2-15
------	------

新潟市 事業仕分け調書

事業名		食と花の世界フォーラム事業			
担当区・部等名		農林水産部	関係区・部名等		
担当課名等		食と花の推進課	関係課名等		
一括して検討する事業 (個別事業名)		.			
.					
.					
.					
事業の目的 (何のために)		「食と花」をキーワードに都市ブランドの構築を図り、本市の魅力と個性を国内外に発信し、国際的な情報拠点都市としての機能向上を図ることを目的とする。			
対象 (誰・何を対象に)		本事業は、2005年のプレ開催から今年度で5回目を迎えますが、「食と花」をキーワードに新潟の強みを市民に意識してもらおうという「イベント型」の第一段階から、国際分野とつながるネットワークや学術的研究を意識しながらその研究成果を食品開発につなげ、最終的には商品化に結び付けていくような「商談型」の産業振興の構造的な経済基盤づくりへと対象を切替える。			
事業概要	事業の内容 (手段・方法・開始時期など)	<p>食と花の推進課内に設置された食と花の世界フォーラム組織委員会が以下の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会の概要 名称:食と花の世界フォーラム組織委員会 会長 篠田 昭 構成員:食・花関連団体のほか、経済団体、大学、県、市を含む42団体 事務局:食と花の推進課 食と花の世界フォーラム担当 ・主な事業概要 【食の国際会議】食と花の世界フォーラムにいがた2010 の開催 (平成22年度) 「食料の安定供給の確保」「安心・安全な食の確保」「食による健康の維持、増進」などを全体のテーマとして食の新潟国際賞の活動とリンクさせながら「食の新潟」の役割として食を取り巻く課題に関わっていく。 【食の国際見本市】「FOOD MESSE in にいがた 2011」の開催 (次年度) 食関連産業を対象とした商談型見本市。平成19年までの食の国際見本市から名称を変更し、次回が2回目の開催。 			
	実施済の外部委託等の内容 と委託等先	委託等内容	食の国際会議の事務局代行		
		委託先	民間企業	NPOなど	自治会など
	直接実施している業務内容	<p>事務局業務(以下のとおり。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 食の国際会議の企画・運営及び「食と花の世界フォーラムにいがた」の事業統括 2 食の国際見本市「FOOD MESSE in にいがた」の企画・運営統括 3 その他、「花の新品種 in にいがた」の企画・運営や食の国際賞財団との調整及び支援 			
事業の必要性	このフォーラム運動は、世界規模の食料不安などを背景にして、国内屈指の食料供給基地である新潟に衆目を集め、大きな発信力を持つ機会を作り出し、全国・世界とのつながりを強めていくことを戦略的なねらいとし、雇用の創出や市内産業の活性化に寄与する事業として必要性が高いと考えている。				

事業番号	2-15
------	------

新潟市 事業仕分け調書

事業名		食と花の世界フォーラム事業									
個別事業名		食と花の世界フォーラム事業									
根拠法令		なし									
実施方法 (該当するものすべてにチェック)		直接実施									
		外部委託									
		その他 (食と花の世界フォーラム組織委員会, 財団法人食の新潟国際賞財団)									
コスト	年度				H20決算(千円)		H21決算見込(千円)		H22予算(千円)		
	・事業費(人件費除く) A				25,614		40,007		28,500		
	財源内訳	特定財源	国庫・県補助金								
			起債								
			受益者負担分(使用料等)								
			その他()								
	一般財源				25,614		40,007		28,500		
	・概算人件費 B				16,000		18,400		16,000		
	職員数(人員)計				2.00 人		3.00 人		2.00 人		
	正職員	標準人件費	8,000 千円	人員	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人		
			概算人件費	16,000 千円	16,000 千円	16,000 千円	16,000 千円	16,000 千円			
非常勤嘱託	標準人件費	2,400 千円	人員	0.00 人	1.00 人	1.00 人	0.00 人	0.00 人			
		概算人件費	0 千円	2,400 千円	2,400 千円	0 千円	0 千円				
臨時職員	標準人件費	1,900 千円	人員	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人			
		概算人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
・概算総事業費 (A+B)				41,614		58,407		44,500			
H22事業費の内訳 (節別内訳) 特に前年度と大幅に異なる場合は、その内容も記載して下さい		予算額(千円)		内訳							
		管外旅費		520	職員出張旅費						
		その他旅費		520	招待者旅費						
		消耗品費		150	〃 土産代など						
		食糧費		210	〃 食事会など						
		使用料及び賃借料		100	タクシー借上げ料など						
		負担金		22,000	食と花の世界フォーラム組織委員会負担金						
		補助金		5,000	食の新潟国際賞補助金						
				28,500							
事業実績		指標 (数量・回数・人数等)	単位	H20年度 (実績)		H21年度 (実績)		H22年度 (見込み)			
		食の国際会議への参加者数	人	1430				1200			
		食の国際見本市ビジネス来場者数	人			3728					
単位当たりのコスト (総事業費 / 事業実績)		参加者1人当たりのコスト	千円	29.1				37.1			
		来場者1人当たりのコスト	千円			15.6					

事業番号	2-15
------	------

新潟市 事業仕分け調書

事業名	食と花の世界フォーラム事業				
目指す成果 (今後どのような状態にしたいか、なるべく定量的に記入)	<p>【食の国際会議】 専門的な人材ネットワークや、すでに実績のある大学・企業の産官学連携研究組織の連結により、食品機能性の研究情報だけでなく、バイオ技術や食品開発・流通など、これまでにない広範な分野の情報を地域産業につなげていくことを目指す。また、健康に関わる情報を市民にも提供し、食の大事さを啓発していく。</p> <p>【食の国際見本市】 見本市を通じた新潟の産業振興につなげるための構造的な経済基盤づくりを目的とする。小売や生産者、食品企業間の商談機会の創出のほか、米を意識した米の新商品の開発・普及や異業種産業との連携などを視野に入れる。また一方で、今後、新潟県や山形・福島など県周辺の企業連携、首都圏企業・バイヤーに働きかけ、新潟港経由の新しい海外進出ルートが必要開発など地域外からの物流集積を進めたい。ビジネス来場者6,000人を目指す。制作運営面でも自立に向けて実力を蓄える。</p>				
達成状況 (目指す成果に対する達成状況等)	<p>【食の国際会議】 ・政令都市の誕生を期に「食と花の新潟」や「世界に向けた食と健康の情報発信する新潟の役割」を市民に呼びかけ始まった食の国際会議は、「食と花は新潟の財産である」という意識を確実に浸透させた。また、この間、国際的なネットワークにおいて新潟とつながった先端の食の研究者は国内外で80名を超えている。</p> <p>・食の新潟の国際認知度を高めるため 国際的により質の高い情報が求められる状況になったことから、世界的ネットワークの拡大や商品開発のための民間連携のほか、人材の専門性を高めるため、推進体制の見直しに着手。2010年には活動実績性の高い民間機関を加え、新たな「新潟食品・バイオ研究開発推進機構」を立ち上げた。</p> <p>【食の国際見本市】 本格的な商談型見本市として、バイヤー・出展者などビジネス来場者は3,728名(前回2007年度589名)に上り、商談結果においても高評価を受けた(アンケート定性調査)。</p>				
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>【自己評価】 民官活力等拡大:民間ノウハウのより積極的な活用を図り、効率的な企画・制作・運営に努めるとともに、地元運営企業の育成に努める。</p> <p>【今後の事業の方向性】 食の国際見本市及び食の国際会議・シンポジウムの一部民営化等を検討・実施する。</p> <p>【課題】 持続可能な運営体制の整備及び食の国際会議、食の新潟国際賞との連携が「食の新潟」のアピールを効率的かつ、相乗効果を招くよう検討を要す。</p>				
さらなる民間活用・市民協働推進の可能性	有 (想定しうる業務と実施主体を下欄に記入)				
	業務内容	食の国際見本市の企画・制作・運営全般を移行する。			
	実施主体	民間企業	NPOなど	自治会など	外郭団体等 その他 ()
	無 (下欄に理由を記入)				
理由					
他の自治体の状況 (類似事業の実施状況等)	他の自治体に類似事業の実施事例なし				
国・県の状況 (類似事業の実施状況及び役割等)	国・県に類似事業の実施事例なし				
特記事項 (事業の沿革等)	<p>平成17年2月 食と花の世界フォーラム実行委員会設立</p> <p>平成17年18年 「食と花の世界フォーラムにいがたプレ2005・プレ2006」開催</p> <p>平成19年6月 「 " 2007」花の国際シンポジウム/花の国際見本市開催</p> <p>平成19年10月 「 " 2007」食と健康の国際会議/花の国際見本市開催</p> <p>平成20年 食と健康の国際会議と食と花の国際見本市を隔年開催とする方針を決定</p> <p>平成20年11月 「食と花の世界フォーラムにいがた2008」食と健康の国際会議開催</p> <p>平成21年11月 「 " 2009」フードメッセin新潟2009開催</p> <p>平成22年10月 「 " 2010」第5回食の国際会議、第1回食の新潟国際賞予定</p>				

事業番号	2-15
------	------

新潟市 事業仕分け調書

事業名	食と花の世界フォーラム事業
<p>事業のスキーム図 (事業の仕組み, 全体像を図で表して下さい)</p> <p>主な支出先とその金額も記入して下さい。なお、補助金等については支出先での「用途」もわかるようにご記入下さい。</p>	<p>【食の国際会議】</p>
<p>対象事業として選定した理由・考えられる論点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「食と花」を都市ブランドとして確立する目的があるが、単独で事業を行うのではなく、食と花に関連する他事業・イベントと連携し相乗効果を招くよう事業を見直す必要があるのではないか。 ・市の負担割合は適切か。 ・経済効果はどの程度出ているのか。今後の見込みはどうか。